

授業科目	現代社会と統計				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10304J		
開講年次	3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	東野 充成							
授業概要	<p>私たちの日常には、さまざまな数字(統計データ)が溢れています。本講義では、それらを「鵜呑み」にすることなく(また反対に、ただたんにスルーするのでもなく)、批判的・創造的に読み解くための「ものの見方」「考え方」「センス」を養うことを目指します。具体的で身近なことから考える素材を選び、より柔軟で、頼りになる(あてにできる)考え方を身につけてもらうこと——それがこの講義の狙いです。思い込みや決めつけから自由になるため(そしてダメされないため)にも、この講義を通じてクリティカル・シンキングとリサーチ・リテラシーの感度を磨いてもらえたらと思います。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>①(狭い意味での統計学の初歩を含む)リサーチ・リテラシーの基礎となる「ものの見方」や「考え方」を身につける(=知らないことを調べ・知るための基礎的な視点と方法を身につける)。 ②クリティカル・シンキング(柔軟で慎重な思考)のために必要な留意点や視点を理解し、それを日常の思考においても実践することができる(=知っていることを疑い、批判的に点検するための感度と視点を身につける)。 ③生活の中にある身近なことから①②を通して捉えなおすことにより、イメージや直観による決めつけ(わかつつもり)を超えて、多面的に考察・分析できる。同時に、自身の考えを数値や図表等を用いて的確に表現できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	0		50		0		50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	0		50		0		50	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
講義で学んだ(統計学の)概念や技法を使って、みずから具体的な社会現象について調査・分析することができる。				講義で学んだ(統計学やクリティカル・シンキングの)概念・方法を、その性能(それらを学ぶ意味)とともに理解し、それを適切に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間

				(分)
1	オリエンテーション&イントロダクション 調べること・疑うこと・考えること	講義		90
2	データを整理する(1)グラフ化・平均・分散	講義	前回の復習	90
3	データを整理する(2)平均の種類・相関図・クロス集計表	講義	前回の復習	90
4	母集団と標本(1)標本・全数調査・抽出調査	講義	前回の復習	90
5	部集団と標本(2)標本の抽出方法と調査デザイン	講義	前回の復習	90
6	大数の法則	講義	前回の復習	90
7	中心極限定理	講義	前回の復習	90
8	統計的検定(1)帰無仮説と対立仮説、有意水準について	講義	前回の復習	90
9	統計的検定(2)検出力と検定統計量	講義	前回の復習	90
10	x二乗検定	講義	前回の復習	90
11	相関係数	講義	前回の復習	90
12	統計の誤謬(1)比較対象の定義、標本の偏り、誘導的な質問	講義	前回の復習	90
13	統計の誤謬(2)結果発表の方法、回答者のクセ	講義	前回の復習	90
14	統計の誤謬(3)平均によるごまかし、暗数	講義	前回の復習	90
15	「不確かさ」の中で考えるために	講義	前回の復習	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	何か特別な知識や技術は前提としません。ただし、柔軟にもの考えようとする姿勢や、「知らないこと(わからないこと)」を知ろうとする好奇心だけは、各自必ず「持参」して下さい。			
テキスト	テキスト(教科書)は使用しません。講義は配布プリントで進めます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義の進行に応じて、「さらに知りたい」「自分でも考えてみたい」という人のための手がかりになるようなものを紹介していけたらと思います。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義で配布するプリントと自分でとったノート(やメモ)を、講義後(次回の講義まで)にていねいに読み返すこと。そのとき何か「わからないこと」があったら、どんなことでも遠慮なく質問して下さい。それが有効な事後学習になると同時に、有意義な事前学習にもつながります。そのためにも、注意深く話(説明)を聴き、(その後の自分のために)しっかりとノートやメモをとるようにして下さい。			
達成度評価に関するコメント	出席の確認もかねて、講義への(実質的な)参加の度合い、内容理解度などをみるために、定期的に小レポート提出してもらい、評価の項目に加えます。期末レポートについては、講義の中で説明します(それぞれのウエイトについては「評価割合」の項目を参照して下さい)。			